



大妻女子大学

総合情報センター
年報

第4号

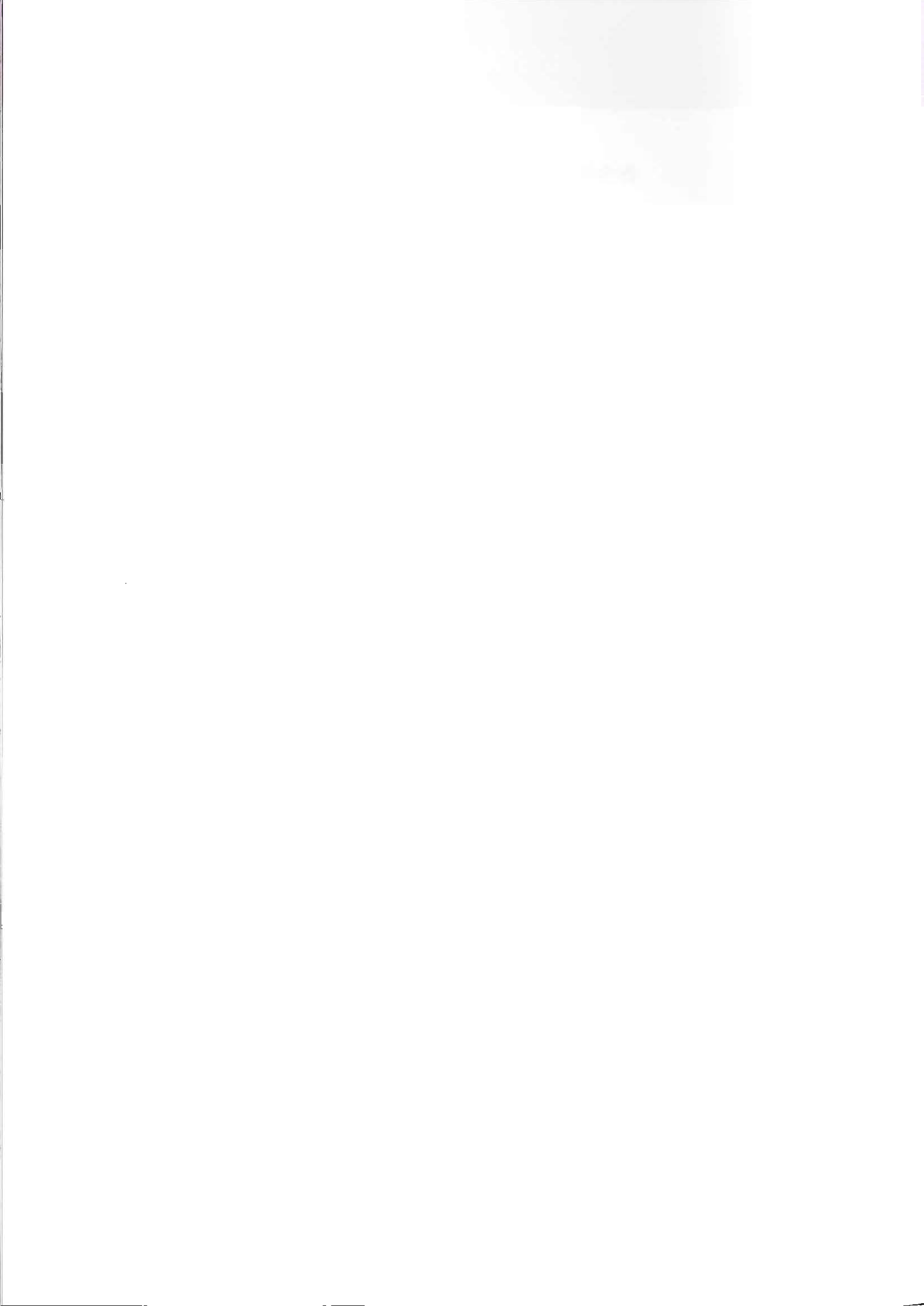


2011年度



総合情報センター一年報 第4号 目次

巻頭言	総合情報センター所長 栗原 裕	3
2011年度総合情報センター業務報告		4
2011年度総合情報センター〈図書館グループ〉業務報告		5
2011年度総合情報センター〈メディア教育開発グループ〉業務報告		16
2011年度総合情報センター決算報告		22
事業計画予算申請について		23
2011年度総合情報センターの組織とスタッフ		27
大妻女子大学総合情報センター規程		28
大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程		29
総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ沿革		30
総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧		32
2011年度総合情報センター運営委員		36



● ● ● 巻頭言 New Literacy vs. Old Literacy ● ● ●

総合情報センター

所長 栗原 裕

図書館ラーニングコモنزの催し「スペシャルな靴選び」(真家和生教授、5月19日)がきっかけであった。この予告に接し興味を惹かれた東北大学の図書館司書の方が、催しの前日出張のついでに本学図書館を見学したいと来訪された。国立大学のプロの方の視察とあって、職員たちは緊張したようであったが、静寂な金曜日の早朝に館内の隅々までたっぷりと視察され、いたく満足された様子であったという。

その日の午後の公務を終えて帰宅された翌朝7時、ご自分のブログに「とても素敵で都心の図書館：大妻女子大学千代田キャンパス図書館」と題して詳細な報告がなされているのではないか。エントランスを入ってすぐの雰囲気や都心のエグゼクティブ向け内装だ、豪華さは階段やトイレの隅々まで及んでいると写真入りで解説された上、ラーニングコモنزの椅子とテーブルに感心され、毎月の催しが魅力的で東京にいれば毎回参加したい、職員の手作りポスターとPR葉は素人ばなれしているなどとおほめにあずかり、くすぐったいこと限りなかった。

この方のブログは「ヨネザアドの学びの杜・遊びの海(米澤誠の公式ブログ)」と称するのであったが、わたくしどもの図書館の訪問記事の一つ置いたもう一つ前の記事に「論文よりブログ」の効用と限界」という記事があって、見過ごすわけに行かない。繰ってみると、論文の代わりに簡易なブログを書かせる教育関係者がアメリカで増えているようで、デューク大学の英文学の教授の発言が引用されている。「従来の論文様式では、文章を書く訓練を受けていない創造性豊かな学生の成長を阻害しかねない」と。

デュークでこんな過激で頓狂なことを言うのはスタンレー・フィッシュだろうと思いつつも、記事本文中に教授の氏名は記されていず、勝手にそうに決まっていると思ひ込んだ。この教授の授業では、学生は論文を書くのではなく、サイトに500-1500語のブログを書くのだという。読み手のいるブログのほうが書き手に刺激がある上、反応もすぐわかる。しかも書いていて楽しいというのだ。ほかにスタンフォードの英文学の教授の場合が紹介されていて、こちらはまず従来型の論文を書かせたあと、ブログでプレゼンテーションをさせるのだという。

情報の出所が『クーリエ・ジャポン』6月号だとあったので、ただちに参照したところ、デュークの先生はキャシー・デイヴィッドソン(フィッシュと思ひ込んだのは誤解)、スタンフォードの先生はアンドレア・ランズフォードであった。さらに情報の大もと『ニューヨーク・タイムズ』であったらしいので、そちらも検索してみた。キャシー・デイヴィッドソンの新著 *Now You See It: How the Brain Science of Attention Will Transform the Way We Live, Work, and Learn* (さあ、おわかりでしょ—— 精神集中についての脳科学のおかげで生活、仕事、学習の仕方がすっかり変わってしまうことを) がデジタル時代に書くことを教えるにはどうしたらいいかをめぐって挑発的な姿勢を示したために、ちょっとした騒ぎの発端になったらしい。今年の初めの頃のこのようだ。“NY Times.com”には記事とともに読者の意見が18通寄せられている。

アカデミック・ライティングについて議論が闘わされるなかで、old literacy と new literacy という語が生まれることになった。前者は旧来の論文というディスコースとトレーニングの様式を指し、後者はブログやツイッターに発しパワーポイント等マルチメディアを用いたプレゼンテーションに及ぶ様式を指す。論文というのは活字メディアと活字文化の究極の姿を象徴している。一方、ブログやツイッターは電子メディアと電子文化の先端を代表している。それぞれのメディアによって成型される人間が大きく分離相異して行くのは自然の成り行きであろう。ランズフォード先生は、new literacy 優勢のなかで、old literacy のどこを、どのように残すべきか見きわめなければならぬところに差しかかっているというのだ。

2011年度 総合情報センター業務報告

1. 2011年度 総合情報センター 運営委員会

2011年6月4日（土）に第1回総合情報センター運営委員会を開催し、2011年度事業計画予算採択結果について報告がなされた。また、各グループの2010年度業務報告、決算報告、2011年度業務計画、予算案、及び「大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程」の改定について審議され、了承された。

第2回総合情報センター運営委員会は、2012年度事業計画予算申請（案）について9月22日（木）から9月30日（金）に文書回覧で審議され、了承された。

2. 2011年度 私立大学等経常費補助金の配分について

2011年 私立大学等経常費補助金の配分にあたっては、一般補助となりICTを活用した教育研究環境の整備状況に応じて学生経費に上乘せする措置として、ICT加算が2011年度から以下の4項目で実施されている。

以下の項目について全学的なICTの活用がされている度合に比例して、補助金が増える。

- A. 学習管理システム…学習者の登録、学習の進捗や学生支援・就職支援状況の管理、学生・教職員間のコミュニケーション等の機能を有するシステム（学習管理システムやポートフォリオシステム）を整備し、利用している。
- B. 遠隔教育…当該大学等の正規の授業について、インターネットの利用等により、講義等が行われる教室外において受講できる環境を整備し、遠隔教育を実施している。
- C. 理解度把握システム…教員の教育力の向上並びに授業の質の向上を図るため、正規の授業において、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術（PC・クリッカー等）を利用している。
- D. 教育内容改善の支援…ICTを利用した教育内容の改善（教育コンテンツの開発、教育ICT活用技術の向上等）のため、支援体制の充実に取り組んでいる。

本学では「B. 遠隔教育」及び「D. 教育内容改善の支援」の項目は該当されているが、学習管理システムや理解度把握システムの導入は今後の課題である。

3. 総合情報センターホームページ

ホームページの維持管理を行い、リニューアルに着手した。

URL 〈<http://www.cemit.otsuma.ac.jp/>〉を参照のこと。

4. 総合情報センター年報 第3号（2010年度）発行

5. 大妻女子大学研究者データベース（教員情報WEBサイト）の構築、管理

2011年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

■ 図書館グループ

業務記録 (2011/4/1～2012/3/31)

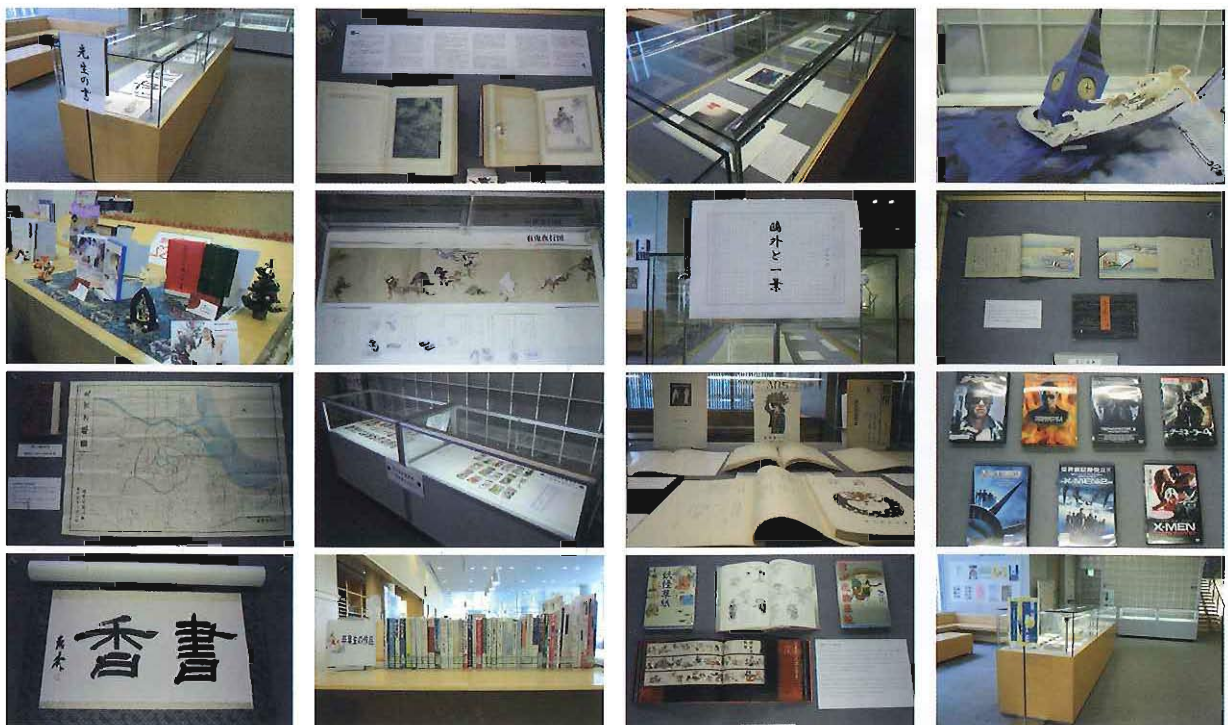
日付	業 務	キャンパス
4/11～4/22	図書館見学ツアー、MyOPAC説明会	全館
4/26	第1回文系図書委員会(陪席)	千代田
5/9～5/27	データベース検索入門講座	千代田・多摩
5/16～6/18	昭和女子大学光葉博物館 春の特別展「町奉行与力の風流な生活―橘千蔭の場合―」へ資料貸出	千代田
6/4	第1回総合情報センター運営委員会	千代田
6/19	オープン・キャンパス	千代田・多摩
6/21	第2回文系図書委員会(陪席)	千代田
6/30	第1回家政系図書委員会(陪席)	千代田
7/14～9/20	夏休み貸出	全館
7/24	オープン・キャンパス	千代田・多摩
7/26	NHKアナウンサー 出山知樹氏来館 自主制作映画DVD「運命の背中」受贈	千代田
8/7	オープン・キャンパス	千代田
8/8～9/13	ラーニング コモンズ・リニューアル	千代田
8/14	オープン・キャンパス	多摩
9/11	オープン・キャンパス	多摩
10/2	オープン・キャンパス	千代田
10/15	日本文学科・国文科主催「貴重書・新収図書資料展」へ資料貸出	千代田
10/15～12/4	新宿歴史博物館 平成23年度特別展「『蜀山人』大田南畝と江戸のまち」展へ資料貸出	千代田
10/22	オープン・キャンパス	千代田
10/23	オープン・キャンパス	多摩
10/24～11/12	読書週間特別企画「1人10冊まで貸出!」キャンペーン	全館
11/22	第3回文系図書委員会(陪席)	千代田
12/7～1/16	冬休み貸出	全館
12/10	オープン・キャンパス	千代田
1/24	第4回文系図書委員会(陪席)	千代田
3/1～4/17	春休み貸出	全館
3/7～	NHKサービスセンター主催「宮沢賢治・詩と絵の宇宙」展へ資料貸出(返却予定:平成26年3月)	千代田



2011年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

千代田校展示記録 (2011/4/1～2012/3/31)

目付	展示テーマ
4/11～5/14	童話からディズニーへ
4/11～5/11	〈ミニ展示〉大学生活応援
5/16～5/21	ラーニング コモンズ・イベントって何?
5/23～6/13	人気の妖怪大集合 一必見!豆腐小僧一
6/15～6/29	観音さま・仏像さんぽ
6/19	オープンキャンパス貴重書展示
7/1～7/23	Science Fiction
7/24	オープンキャンパス貴重書展示
7/26～8/31	浮世絵涼し・妖怪涼し
8/7	オープンキャンパス貴重書展示
9/1～9/17	鷗外と一葉
10/2	オープンキャンパス貴重書展示
10/11～11/12	萩原朔太郎 一生誕百二十五年一
10/22	オープンキャンパス貴重書展示
11/14～11/26	祝☆学校記念日 大妻のココからミライへ
11/28～12/10	古書とりどり
12/12～12/22	しかけ絵本
12/12～12/22	〈ミニ展示〉恋のおはなし展
1/10～1/31	先生の書
1/10～1/21	〈ミニ展示〉江戸・TOKYO～ビフォア アフター
2/6～2/29	芥川生誕120年と芥川賞
3/5～3/24	お仕事小説&卒業生の本



図書館統計

1. 図書所蔵数

2012.3.31現在 (単位：冊)

	千代田	狭山台	多摩	合計
和書	147,730	86,476	98,985	333,191
洋書	38,785	19,925	25,496	84,206
合計	186,515	106,401	124,481	417,397

※雑誌製本を除く

2011年度末、図書資料の各図書館と全体の蔵書数を表す。



2. 配置別図書受入数

(単位：冊)

	図書						製本雑誌		計
	和書	洋書	消耗		千鳥会	計	和	洋	
			和書	洋書					
千代田	2,363(29)	453(2)	418(16)	0	415	3,649(47)	500	253	4,402
狭山台	365(14)	5(1)	247(18)	0	89	706(33)	1	3	710
多摩	2,351(17)	93(2)	459(8)	0	385	3,288(27)	325	247	3,860
合計	5,079(60)	551(5)	1,124(42)	0	889	7,643(107)	826	503	8,972

※ () 内は寄贈図書 受入数には寄贈数を含む

3館別の受入冊数。年々の和書全体に対する消耗図書の割合が増えてきた。これは学生の関心が高いキャリア関連図書を充実させているためである。

2011年度の特徴としては、多摩校で単価が高い多巻物の和書を購入したため洋書の発注がほとんど行われず、その受入数が大幅に減少したことが挙げられる。

3. 分類別図書受入数

(単位：冊)

	和書				洋書				合計
	千代田	狭山台	多摩	計	千代田	狭山台	多摩	計	
総記	192	12	123	327	4	0	13	17	344
哲学・心理学	111	26	172	309	13	0	3	16	325
歴史・地理	349	37	272	658	24	2	7	33	691
社会科学	686	128	1,013	1,827	65	2	21	88	1,915
自然科学	176	64	238	478	4	0	2	6	484
工学	156	70	147	373	10	0	10	20	393
産業	68	22	107	197	9	0	0	9	206
芸術・体育	137	49	165	351	19	0	8	27	378
言語	146	22	114	282	66	0	13	79	361
文学	772	132	285	1,189	239	1	16	256	1,445
その他	403	139	559	1,101	0	0	0	0	1,101
合計	3,196	701	3,195	7,092	453	5	93	551	7,643

2011年度の新収図書を日本十進分類法 (NDC) によって分類したものである。

分野別に見ると、工学・産業分野の図書の購入が2010年度より増えている。これは、東日本大震災の影響で、「放射能 (線)」「原発問題」関連図書を多く購入したためである。

2011年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

4. 図書受入数の推移

(単位：冊)

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
和 書	千代田	3,892	3,913	2,598	3,495	3,196
	狭山台	1,516	987	823	796	701
	多 摩	4,473	4,714	3,105	3,626	3,195
	計	9,881	9,614	6,526	7,917	7,092
洋 書	千代田	630	454	421	397	453
	狭山台	50	15	7	6	5
	多 摩	234	621	206	203	93
	計	914	1,090	634	606	551
合 計		10,795	10,704	7,160	8,523	7,643

※雑誌製本を除く

千代田校では文学部で毎年高額資料を複数購入しているため2009年度以降受入数が減っている。例年多摩校の和書受入数が千代田校より多かったが2011年度はほぼ同数になった。

5. 視聴覚資料所蔵数

2012.3.31現在 (単位：点)

	視聴覚資料
千代田	1,983
狭山台	907
多 摩	3,861
合 計	6,751



6. 視聴覚資料受入数

(単位：点)

	CD	ビデオテープ	DVD	合 計
千代田	17	0	131	148
狭山台	10	0	26	36
多 摩	16	0	37	53
合 計	43	0	194	237

7. その他資料受入数

(単位：点)

	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	CD-ROM	DVD-ROM	合 計
千代田	0	0	12	12	24
狭山台	0	0	0	1	1
多 摩	0	0	7	1	8
合 計	0	0	19	14	33

2011年度の特徴としては、ビデオテープの受入が全くなかったことが挙げられる。一般に、視聴覚資料の媒体がほぼDVD・ブルーレイディスクに移行したためであろう。

千代田校では所蔵ビデオテープを点検し、劣化などで利用できなくなった資料のDVDへの買い替えを行った。

狭山台校では視聴覚資料の新規購入は継続分のみで、他は図書や雑誌の付録CDであった。

多摩校ではDVDの受入数が昨年度に引き続き減少した。多摩3学部図書費・共通費ともに図書の購入に充てられたためである。

8. 所蔵逐次刊行物タイトル数

2012.3.31現在 (単位:種)

	千代田	狭山台	多摩	タイトル合計
和雑誌	3,409	1,127	1,354	4,992
洋雑誌	718	492	433	1,473
合計	4,127	1,619	1,787	6,465

※タイトル合計は重複を除く



9. 継続購入逐次刊行物分類別タイトル数

2012.3.31現在 (単位:種)

	和雑誌				洋雑誌				タイトル合計
	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	
総記	74	28	63	104	30	4	18	40	144
哲学・心理学	5	3	14	17	11	1	16	25	42
歴史・地理	14	2	16	27	9	0	15	23	50
社会科学	107	25	99	191	46	0	52	89	280
自然科学	39	2	24	56	37	1	14	48	104
工学	58	16	32	89	31	0	8	39	128
産業	7	4	9	17	5	0	1	6	23
芸術・体育	37	5	19	48	6	0	5	11	59
言語	14	6	12	21	61	0	5	62	83
文学	213	17	27	223	55	0	7	61	284
合計	568	108	315	793	291	6	141	404	1,197

※タイトル数およびタイトル合計は重複を除く

10. 契約電子ジャーナル・データベース

契約電子ジャーナル	契約データベース
Science Direct JSTOR EBSCOhost/Academic Search Elite	<p>新聞記事等</p> <p>聞蔵IIビジュアル 毎日Newsバック ヨミダス歴史館 日経テレコン21 Library PressDisplay JIJI-Web</p> <p>雑誌論文等</p> <p>大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索Web版 雑誌記事索引集成データベース 日経BP記事検索サービス大学版 JapanKnowledgeプラスNRK メディカルオンライン Westlaw Japan(日本法データベース) Literature Online MLA International Bibliography Literature Resource Center ProQuest Dissertations & Theses(人文社会系) Marquis Biographies Online (Marquis Who's Who) Books in Print with Book Reviews CSA linguistics and language behavior abstracts Women and Social Movements, in the United States 1600-2000</p>



データベースの見直しや定期的な利用案内により、全館で利用促進に努めた。

2011年度は法情報データベースの内容の充実を図るため「第一法規」から「Westlaw Japan」に切り替えた。

千代田校・多摩校ともに新聞データベースは2011年度も利用率が高く、利用者から「アクセス数オーバー」のメッセージが出るという声を聞く。

また2011年度はe-Bookの形態で出版されている参考図書の導入を検討したが、出版物の内容が古かったり、本学では利用が見込めない分野であったため、試験的な導入も見送られた。

2011年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

11. 図書費決算報告

2012.3.31現在 (単位:円)

		予算額	執行額	残 額
家 政 系	被 服 学 科	3,281,000	3,047,399	233,601
	食 物 学 科	3,281,000	2,599,165	681,835
	児 童 学 科	3,281,000	3,229,667	51,333
	ライフデザイン	3,281,000	2,458,970	822,030
	短大・家政科	400,000	396,906	3,094
文 系	日 本 文 学 系	19,090,000	19,050,456	39,544
	英 文 系	15,897,000	15,836,863	60,137
	コミュニケーション	7,452,000	7,369,128	82,872
文系・家政系共通		8,988,000	8,927,039	60,961
多 摩	社 会 情 報 学 部	6,757,000	6,029,188	727,812
	人 間 関 係 学 科	3,312,000	2,839,257	472,743
	人 間 福 祉 学 科	2,064,000	1,947,440	116,560
	比 較 文 化 学 部	9,434,000	9,413,296	20,704
	共 通	5,992,000	5,945,284	46,716
附 置 研		1,000,000	656,136	343,864
図 書 館		10,673,600	10,609,926	63,674
合 計		104,183,600	100,356,120	3,827,480

※生活科学資料館：81,320円は図書館に含む

※キャリア教育センター・教職総合支援センター：各163,640円は図書館に含む

※特別加算（補助金データベース収入）：2,891,000円は図書館に含む

12. 高額資料一覧

(単位:円)

形 態	書 名	数 量	金額(税込)	配 置
和 書	平治物語	3冊セット	2,100,000	千代田
データベース	Literature Resource Center	1アクセス	1,115,559	
データベース	日経テレコン21	フリー	1,018,500	
データベース	聞蔵IIビジュアル	2アクセス	876,960	
データベース	Academic Search Elite	フリー	848,400	
和 雑 誌	牟婁新報	36冊セット	847,000	千代田
データベース	Books in Print with Book Reviews	4アクセス	825,877	千代田
データベース	Literature Online-the Complete Collection	フリー	674,602	
データベース	Japan Knowledge プラスNRK	2アクセス	655,200	
和 書	日本色彩大鑑	6冊セット	637,875	千代田
データベース	日経BP記事検索サービス大学版	フリー	630,000	
和 雑 誌	ホームライフ	17冊セット	538,650	千代田
データベース	MLA International Bibliography	1アクセス	520,600	
データベース	滝田樗陰旧蔵近代作家原稿集	4アクセス	472,500	
データベース	ProQuest Dissertations & Theses(人文社会系)	フリー	430,000	千代田
データベース	ヨミダス歴史館	1アクセス	408,240	
データベース	雑誌記事索引集成データベース	1アクセス	378,000	
和 雑 誌	満州グラフ	15冊セット	304,920	文系図書室
データベース	Library Press Display	3アクセス	303,072	
データベース	JII Web	1アクセス	302,400	
合 計			13,888,355	

30万円以上で購入した資料を掲載した。例年高額資料として、データベースは英文科と図書館が、図書は日本文学科が購入することが多い。ところが2011年度はコミュニケーション文化学科・ライフデザイン学科でも高額資料を購入し、日本文学科がデータベースを購入するなど傾向が変わった。

13. 開館日数

(単位：日)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
千代田	287	289	280	277	286
狭山台	269	273	262	257	266
多摩	287	290	280	276	279

14. 入館者数

(単位：人)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
千代田	50,728	56,106	57,297	59,656	59,980
狭山台	18,522	22,638	18,069	21,152	19,238
多摩	51,532	51,986	49,496	53,625	50,850

2011年度、東日本大震災の影響で4月は時間を短縮して開館し、5月から通常開館に戻った。ただ、交通機関が震災直後は計画停電にともなう臨時ダイヤで運行、その後は節電対策による運行削減を実施したため、その影響が大きい狭山台校・多摩校では入館者が減少した。

運行削減の影響が少ない千代田校の入館者はあまり変化がない。入館者が増加傾向のまま変化が少ないのは、2010年度にオープンしたラーニングコモンズ目当ての利用者が安定して定着したものと考えられる。

15. 学部別館外貸出人数

(単位：人)

家政学部	文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	大学院	短期大学部
4,169	6,125	1,877	2,665	3,044	395	1,663

16. 貸出冊数推移

	年度	冊数	人数
千代田	2007年度	15,433	8,680
	2008年度	16,798	9,197
	2009年度	17,222	9,602
	2010年度	18,337	10,252
	2011年度	19,540	10,596
狭山台	2007年度	3,481	2,076
	2008年度	5,285	3,035
	2009年度	4,682	2,710
	2010年度	7,604	4,286
	2011年度	5,301	3,125
多摩	2007年度	14,798	7,675
	2008年度	14,836	7,630
	2009年度	13,951	7,346
	2010年度	16,020	8,470
	2011年度	15,598	8,332



各館で2010年度と貸出冊数、人数を比較した。千代田校では利用が増えている。重点的に購入したキャリア関連図書の貸出回転率が高かった。狭山台校では授業で例年図書を利用していた課題が変わり、その影響で利用が減少した。多摩校では利用が若干減少した。図書館システムの貸出動態統計を見ると17時以降の貸出が減少しているため、震災後の節電対策対応のための早期帰宅が影響していると考えられる。

2011年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

17. 逐次刊行物利用統計

所 属		冊 数	人 数	
千代田	家政学部	被 服	23	7
		食 物	171	65
		児 童	142	32
		ライフデザイン	35	6
	文 学 部	日 文	1,903	655
		英 文	38	26
		コ ミ 文	176	35
	多 摩		24	3
	短 大	家 政	8	4
		国 文	143	50
		英 文	13	4
	大 学 院		263	84
	教 職 員		405	138
そ の 他		169	66	
小 計		3,513	1,175	
多 摩	社会情報学部	48	21	
	人間関係学部	153	94	
	比較文化学部	73	51	
	千代田	0	0	
	大 学 院	45	28	
	教 職 員	130	56	
	そ の 他	14	8	
	小 計	463	258	
合 計		3,976	1,433	

※バックナンバーのみ
 ※狭山台校は開架のため統計実施せず
 ※その他には中高・非常勤含む



2011年度も千代田校の逐次刊行物の利用傾向は大きく変わらない。1人あたりの利用率を見ると2008年度以降、概ねどの学科も微増傾向にある。

多摩校では2010年度と比較して逐次刊行物利用人数が約50%、利用冊数が60%減少した。これは授業で新聞の縮刷版を利用する課題がなくなったためである。

千代田校・多摩校ともに逐次刊行物は授業の課題で利用することが多い。そのため課題の有無で利用数が大きく変わることがある。ただ、本学でも逐次刊行物は次第に雑誌そのものから電子ジャーナルへ、新聞縮刷版からデータベースの記事検索へと利用媒体が変化している。課題での電子ジャーナル、データベース利用が定着してくれば逐次刊行物利用統計上の数は減少するのではないだろうか。

18. 視聴覚資料利用点数

(単位：点)

	ビデオテープ	CD	DVD	LD	音声テープ	合 計
千代田	23	41	533	0	0	597
狭山台	13	35	211	5	0	264
多 摩	116	44	1,449	0	0	1,609

※所蔵・持込合計

全館でDVDの利用数が増えた。千代田校で80%、狭山台校で35%、多摩校で55%増である。

千代田校・多摩校では授業の空き時間に利用する学生が増えている。これは図書館見学ツアーやポスターで新着タイトルの紹介を行った効果であろう。

狭山台校では授業の一環として利用された。

19. 学外相互協力

(単位：件)

		2009年度			2010年度			2011年度		
		紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借
千代田	依頼	18	86	3	26	101	1	11	108	4
	受付	22	62	0	21	63	0	19	63	0
狭山台	依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受付	0	1	0	0	0	0	0	0	0
多摩	依頼	13	90	9	14	129	3	9	106	6
	受付	2	6	0	1	13	0	3	2	0
合計	依頼	31	176	12	40	230	4	20	214	10
	受付	24	69	0	22	76	0	22	65	0

※謝絶を含む

千代田校では依頼、受付ともに傾向は変わらず一定している。

多摩校では依頼が2006年度から2009年度までの減少傾向から落ち着き一定したようである。

全逐次刊行物利用点数のうち学外に依頼して入手した割合が千代田校3%に対して多摩校は18%と高い。また依頼者の内訳も教職員が千代田校では57%、多摩校では77%である。



2011年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

2011年度 ラーニング コモンズ・イベント

	日時	タイトル	講師
第1回	5月21日(土)	仕事せよ文字たち ：がんばってるけど全部の要求のめません！ —漢字、ハングル、アラビア文字の働きぶり—	社会情報学部社会情報学科 原田龍二 教授
第2回	6月25日(土)	大妻コタカと観音信仰	花村邦昭 大妻学院理事長
第3回	7月23日(土)	懐かしい21世紀 —SFが描いてきた未来—	波津博明 家政学部長
第4回	9月17日(土)	書を捨てず、町へ出よう —文学を歩く—	文学部日本文学科 須田喜代次 教授
第5回	10月29日(土)	空海の手紙 —なぜ日本の書聖となり得たのか？	文学部 コミュニケーション文化学科 松村茂樹 教授
第6回	11月30日(水)	米と日本人	家政学部食物学科 井上榮 教授
第7回	12月10日(土)	神保町古書店街を100倍楽しむ方法	(有)日本書房 西秋幸男 氏
第8回	1月21日(土)	お楽しみ！地図で日本史 —地歴連携の試み—	大妻中学高等学校 寺尾隆雄 教諭
特別編	2月25日(土)	『観音経』講話	花村邦昭 大妻学院理事長

第1回
仕事せよ文字たち
：がんばってるけど全部
の要求のめません！
—漢字、ハングル、アラ
ビア文字の働きぶり—
原田龍二 教授



第2回
大妻コタカと観音信仰
花村邦昭
大妻学院理事長



第3回
懐かしい21世紀
—SFが描いてきた未来—
波津博明 家政学部長



第4回
 書を捨てず、町へ出よう
 —文学を歩く—
 須田喜代次 教授



第5回
 空海の書
 —なぜ日本の書聖となり得たのか?—
 松村茂樹 教授



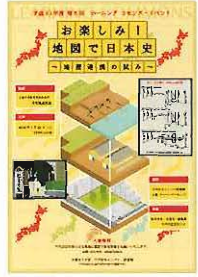
第6回
 米と日本人
 井上榮 教授



第7回
 神保町古書店街を100倍
 楽しむ方法
 (有)日本書房
 西秋幸男 氏



第8回
 お楽しみ！地図で日本史
 —地歴連携の試み—
 大妻中学高等学校
 寺尾隆雄 教諭



特別編
 『観音経』講話
 花村邦昭
 大妻学院理事長



■ メディア教育開発グループ

1. 授業支援

メディア教育開発グループでは、3キャンパスの語学関係教室（CALL・LL）、視聴覚教室、情報処理実習室、情報処理自習室や授業用情報システムの維持・管理・運用を担当し、それらの施設・設備を利用して行われる授業や学生の主体的学習が効率的、効果的に行われるよう以下の支援を行った。

また、学内システムのうち、教育用情報システムについてはメディア教育開発グループが担当しており、そのために必要なネットワークの維持・管理・運用を行った。視聴覚機器やパソコン、ネットワークなどに関する教員・学生からの問い合わせ（学生指導含む）については、ヘルプデスク業務として対応した。

1) 情報処理・語学関係実習室における授業への支援

[支援内容]

《千代田校・多摩校・狭山台校共通》

- ・情報処理関連教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
- ・情報処理関連教室施設、設備の維持管理、運用（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
- ・教員、職員、学生等への情報処理関連教室施設・設備に関する取扱説明
- ・統合認証システム（ADサーバ）維持管理、運用
- ・学内システム利用アカウント（教員等）の発行、管理
- ・ファイルサーバ（学生用・教員用ホームフォルダ、Publicフォルダ設定、管理）
- ・教員貸出用大妻 Web メールアカウント管理
- ・プリンタ履歴システム管理、運用

《千代田校、狭山台校情報処理教室、情報処理自習室関係》

- ・授業補佐
- ・情報処理関係科目（教養教育）担当授業補助員のリクルート及び労務管理
- ・情報処理教室、情報処理自習室ホームページ（教室利用の手引き）更新

《多摩校情報処理実習室（社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部）関係》

- ・実習室ホームページ更新
- ・教師用「実習室利用の手引き」作成
- ・コンピューターシステム運営委員会及びコンピューターシステム更新委員会（社会情報学部）

[教室使用状況]

千代田校		前 期	後 期
情報処理教室	(4 教室)	66時限/週	52時限/週
CALL教室	(1 教室)	9 時限/週	8 時限/週
多摩校		前 期	後 期
情報処理実習室	(4 教室)	62時限/週	59時限/週
情報処理・LL教室	(5 教室)	51時限/週	45時限/週
LL教室	(1 教室)	13時限/週	11時限/週
理科実験室	(1 教室)	7 時限/週	4 時限/週
狭山台校		前 期	後 期
情報処理教室	(1 教室)	12時限/週	12時限/週
CALL教室	(1 教室)	13時限/週	14時限/週

(上記時限以外に不定時の利用による授業支援あり)

2) 視聴覚教室における授業への支援

- ・視聴覚教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
- ・視聴覚教室施設、設備の維持・管理（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
- ・教員、職員、学生へ視聴覚教室施設・設備に関する取扱説明（各キャンパスとも随時実施）

3) 普通教室、実験・実習室における授業への支援

- ・視聴覚機器の貸出し・操作説明等（定時、不定時）

4) 遠隔授業に関する支援

- ・ネットワーク多摩提携講座遠隔授業実施（朝日新聞提携講座、NHK 提供講座）
- ・FD 講演会（2011.12.2） 千代田校（155 教室）←→多摩校（7114 教室）

5) スタジオ（含む、メディア制作ルーム）を利用する授業への支援

- ・スタジオ利用授業の機器操作指導・補佐、番組制作のための機器貸出し・操作指導
- ・設置機器の維持管理
- ・ビデオ編集作業の指導・補佐等
 - a) 「アナウンス演習」におけるスタジオ利用授業時の機器操作指導・補佐
 - b) 「インタビュー演習」におけるスタジオ利用授業、ビデオ編集作業時の機器操作指導・補佐
 - c) 「メディアリテラシー」におけるビデオ編集作業の指導・補佐
 - d) 「卒業制作」「卒業論文」におけるビデオ編集作業の指導・補佐
 - e) 「ゼミ」におけるビデオ編集作業の指導・補佐
- ・スチル撮影（照明セッティング等含む）
 - a) 「卒業制作」における制作物のスチル撮影
 - b) 「千代田区の連携協力」等、研究における制作物、研究対象のスチル撮影

6) ヘルプデスク業務

- ・パソコン及びプリンタ等の設定及び不具合対応
- ・ネットワーク関連機器接続の設定及び不具合対応
- ・アプリケーションに関する導入支援、操作説明等
- ・ウィルス対策（ソフトウェア導入支援・操作説明、ウィルス駆除等）
- ・メール全般に関する支援（送受信、転送設定等）
- ・視聴覚教室等でのパソコン接続（出力設定、ネットワーク接続等）に関する操作説明
- ・視聴覚教室等における AV 機器（操作卓等）の操作説明

7) 情報処理自習室の維持・管理及び学生指導

千代田校	情報処理自習室（本館地下2階）PC席数：60席	
	期 間	2011年4月1日～2012年3月31日 月～土
	時 間	平日 9：00～18：00 土曜 9：00～17：00
	利用者数	延べ44,579名
	メディア制作ルーム（本館8階）PC席数：12席 AV席数：2席	
	期 間	2011年4月1日～2012年3月31日 月～土
多摩校	時 間	平日 9：00～17：00 土曜 9：00～12：30
	利用者数	延べ1,982名
	情報処理自習室（図書館棟2階）PC座席数：60席	
多摩校	期 間	2011年4月1日～2012年3月31日 月～金
	時 間	通常 9：00～16：10
	利用者数	延べ25,939名

※情報処理関係の自習のため、情報処理自習室の他に関係教室を授業で使用していない時間は、自習用として開放している。

※2011年3月11日の東日本大震災発生に伴い、4月以降開室時間を短縮した。

8) 授業以外への機器貸出し・操作説明など

- ・学内・学外団体関係（学会・講演会、講習会他）
- ・事務局関係（入学式、卒業式、オープンキャンパス、各種ガイダンス、入試関係、学園祭等）

2011年度 総合情報センター 〈メディア教育開発グループ〉 業務報告

2. 補完教育

1) 課外英語力強化プログラム

本講座は学生が正規授業の履修状況にあわせて、毎日1コマ(40分)、週5日(年間100コマ)のスケジュール表を各自で作成し受講するプログラムで、毎回の講座の他に自由に会話ができるEC(English Challenge)の時間も用意されている。講座内容は、インタラクティブな活動を中心としたグループレッスン(12名前後)で構成されている。

2011年度の担当講師は、アメリカ、イギリス、ニュージーランドの出身者で、英語を母語としない人への英語教授資格(TESOL、TEFL、CELTA等)の有資格者である。そのほか年2回(前期1回、後期1回)TOEIC IPテストを実施している。

2011年度の講座実績は以下の通りである。

◆2011年度受講者数

千代田	89人(26人)
多摩	103人(17人)
狭山台	49人
合計	241人(43人)

* () 内は継続者数

TOEIC IP テスト実施については各自の英語力を確認することを目的としている。目的達成のためなるべく多くの学生に受験してもらい、その後の講座出席に役立ててもらえるように講座開始と共に日程を決め募集をしている。

また、通常の講座とは別にECの時間を使って試験の傾向と対策講座などを実施している。受験状況は下記の通りである。

◆2011年度TOEIC IP テストについて

	前期				後期			
	受験者数	平均点	500点以上の学生数	最高点	受験者数	平均点	500点以上の学生数	最高点
千代田	14人	511点	8人	765点	8人	402点	1人	575点
多摩	16人	421点	3人	575点	10人	454点	3人	595点
狭山台	5人	420点	1人	505点	3人	427点	1人	575点
合計	35人		12人		21人		5人	



2) 課外パソコン講習

2011年度は、ビジネスアプリケーションであるWord、Excel等の講座に加え、パソコン検定(P検)講座を開講した。

従来は前期・後期とも平日の5時限以降か土曜日に、またこれとは別に夏季、春季休業期間を利用した集中講座を実施してきたが、2011年3月11日の東日本大震災発生に伴い、2011年度は開始及び終了時刻をそれぞれ早めると共に、開講数を大幅に削減して実施した。

なお、各講座の最終回には実技試験と知識試験を実施し、合格者には認定団体より認定書を発行している。

2011年度の講座受講者及び受験状況は下記の通りである。

◆2011年度受講者数(延べ数) 単位:人

千代田	123
多摩	66
狭山台	14
合計	203(165)

* () 内は資格取得者数



大雲女子大学
大雲女子大学短期大学部
総合情報センター・CTDI/教育開発センター

課外パソコン講習受講者募集

学内専修で資格も取得!

Word基礎講座 Word基礎講座(初級)	Excel基礎講座 Excel基礎講座(初級)	中級3級講座 中級3級講座(初級)
Word応用講座 Word応用講座(中級)	Excel応用講座 Excel応用講座(中級)	中級2級講座 中級2級講座(初級)

Word・Excel・PowerPointによるパソコン検定の準備講座
基礎から応用まで、1日2講座(各2コマ)の受講が可能なため、効率的に学習できます。

資格取得講座
Word・Excel・PowerPointの3つを同時に学習し、1日2講座(各2コマ)の受講が可能なため、効率的に学習できます。

※各講座の最終回は実技試験と知識試験を実施し、合格者には認定団体より認定書を発行いたします。

※受講料については別途、要領書にて、お送りいたします。

【申込要領】

1. 申込期間: 2011年10月1日(金)～10月31日(木)まで
2. 申込方法: 総合情報センター・CTDI/教育開発センター(1階)にて受付いたします。
3. 申込料: 2000円(税込)です。
4. 申込書: 総合情報センター・CTDI/教育開発センター(1階)にてお借りいただけます。
5. 申込用紙: 総合情報センター・CTDI/教育開発センター(1階)にてお借りいただけます。

【お問い合わせ先】
総合情報センター・CTDI/教育開発センター
〒356-8502 千葉県船橋市大雲2-1-1
電話: 0476-82-1111(内線) 2000番
FAX: 0476-82-1111(内線) 2001番
Eメール: info@seiji.ac.jp
ホームページ: <http://www.seiji.ac.jp>

3. 教材制作

教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化を主に行っており、具体的には、ビデオ収録・編集、PC再生用のオーディオ・ビデオデータの制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化・データ変換などを行った。印刷関係ではカラーコピー・拡大印刷などを中心に作成を行った。

以下は、2011年度各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数である。

教材制作担当部署	内 容	年間制作数
千代田校	音声関係	22本
	映像関係	674本
	PC関係（紙原稿・スライド等のデジタルデータ）化	546点
	印刷関係 （うち拡大印刷）	2,268枚 652枚
多摩校	映像関係	0本
	音声関係	106本
	印刷関係 （うち拡大印刷）	180枚 180枚
狭山台校	音声関係	0本
	映像関係	11本

4. 千代田校新校舎建築関係

- ・ 情報処理関連教室(情報処理自習室含む)施設、設備の設計
- ・ 視聴覚教室施設、設備の設計

5. その他の業務

1) 入学試験関係業務

- ・ 入学試験Listening問題録音・編集
- ・ 入学試験前日の試験会場音響確認
- ・ 入学試験当日の試験会場音響確認、問題再生、その他
- ・ 大学入試センター試験

2) 私立大学情報教育協会（私情協）関係

- ・ 会議及び研修会等案内の学内配布（16件）及び参加申込受付
- ・ 通常総会及び臨時総会出席（3回）
- ・ アンケート調査回答（4件）
- ・ 機関誌学内配布
- ・ その他（コンテンツのオンデマンド利用申込み、他）

3) 各種調査への対応

- ・ 2011年度私立大学経常費補助金（学生経費に係わる調査 [ICT]）
（日本私立大学振興・共済事業団）
- ・ 2011年度学術情報基盤実態調査（文科省）
- ・ 2010年度私立大学情報化投資額調査（私情協）

- ・2011年度私立大学高度情報化補助金活用調査（私情協）
- ・2011年度私立大学情報環境調査（私情協）

4) 各種研修会などへの参加

- ・各種研修会、講習会
- ・外国語教育メディア学会（LET）など、関係学会

5) 学内行事、他

- ・2012年度事業計画予算申請
- ・2011年度入学式、卒業式関係（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など）
- ・2011年度学園祭関係（打合せ、事前点検、機器貸出し、操作説明、事後点検など）
- ・2010年度沿革史原稿作成、提出
- ・ガイダンス用資料封入作業
- ・各部署スタッフミーティング開催（随時）
- ・全部署合同ミーティング開催
- ・オープンキャンパスサポート（千代田）

2011年度 総合情報センター決算報告

2011年度総合情報センター決算報告

総合情報センターは、2011年度経常費予算として20,320,000円を申請し承認された。内、図書館グループは5,900,000円、メディア教育開発グループは14,420,000円の配分とした。

主な執行内訳は、図書館グループおよびメディア教育開発グループ共同で総合情報センターのホームページのリニューアルを行なった。また、図書館グループとしては、機器・備品としてノートパソコンや差込雑誌架、ライブラリーラベルなどの消耗品、その他、プリンターの修理、雑誌の保管・保存のためのバックナンバー製本、「図書館利用のしおり」の印刷等であった。

メディア教育開発グループは授業貸し出し用機材としてノートパソコンやデジタルビデオカメラ、ブルーレイディスクプレイヤー、ICレコーダー、定期試験採点用のマークカードリーダー等を購入した。また、千代田キャンパスは業務・執務室を集約したことにより、大判印刷機の移設、Webカメラ設置等を行なった。

2011年度の執行状況は下記の通りである。

(単位：円)

	図書館	メディア教育開発グループ			決算	予算
		千代田校	多摩校	狭山台校		
機器・備品費	381,675	3,147,622	1,240,370	247,800	5,017,467	6,680,000
消耗品費	1,829,173	3,483,573	1,429,470	352,110	7,094,326	6,130,000
修繕費	31,185	72,870	0	207,900	311,955	1,750,000
雑費	310,934	952,619	18,033	10,504	1,292,090	1,050,000
ソフト費	0	887,621	696,286	35,280	1,619,187	1,025,000
通信費	763,680	36,567	29,208	29,153	858,608	985,000
印刷・製本費	1,659,069	313,862	140,000	0	2,112,931	1,800,000
賃貸借費	0	0	146,853	0	146,853	200,000
HP作成費	297,600	500,000	500,000	500,000	1,797,600	1,500,000
予算戻り分	0	▲ 749,125	0	0	▲ 749,125	▲ 800,000
合計	5,273,316	8,645,609	4,200,220	1,382,747	19,501,892	20,320,000
		14,228,576				



事業計画予算申請について

1. 2011年度 事業計画予算及び採択結果

2011年度事業計画予算として申請した事業のうち、図書館グループは「図書館ラーニング commonsの整備」および「ラーニングcommonsにおけるネットワーク環境の構築について」の2件が承認された。

2010年4月から学生に開放している「ラーニングcommons」をより多目的スペースとして機能を向上するため、女性向けの人間工学の観点から開発された、利用しやすい椅子、机等の整備を行った。また、ネットワーク環境を構築することによって、学生の持ち込みパソコンによるインターネットの利用が可能になった。

また事業計画予算での執行が承認されなかった計画2件のうち、「図書館所蔵貴重資料のデジタル化」は、私立大学等経常費補助金「ICT活用教育研究支援」により、「源氏物語」「詞花和歌集」「拾遺和歌集」の貴重資料のデジタル化を実施した。

また、2012年度事業計画として申請した、「千代田校図書館地下AV・情報メディアルームのリニューアル」について、2011年2月からの事前着手が承認された。

メディア教育開発グループは申請した事業のうち情報関係施設の保守費2件について承認された。

「3キャンパス設置教育系ADサーバ（認証サーバ）保守」については、これまで全学統合認証システム保守として契約されていたが、2011年4月からADサーバの認証範囲が教育系情報施設となったため、メディア教育開発グループが管理している教育系ADサーバ部分の保守費として申請した。

これらの保守費は情報関係施設を維持していくためには必要不可欠なものであり、これによって定期的に点検を行い、授業等において支障なく運用することができる。

また、メディア教育開発グループで管理している情報処理関係施設等は授業の関係から更新工事を実施する時期が年度末になるため、2ヶ年にわたって申請する必要がある。「全学教育系情報システム更新」「多摩校図書館棟情報処理自習室リプレイス」「多摩校 Microsoft Office2010 アップグレード」の3件は、2012年度事業計画予算として申請するにあたり、2011年度事前着手として申請し、承認された。



図書館棟 ラーニングcommons（千代田校）



人間関係学部棟 情報処理・LL教室（多摩校）

事業計画予算申請について

2011年度事業計画予算申請の採択結果は下記の通りである。

◆要望に基づく執行承認内容・計画金額等

(単位：円)

	件名	予算額	備考
K-1	3キャンパス設置教育系ADサーバ(認証サーバ)保守	0	統合認証システム保守費用からの分割
K-2	多摩校 人間関係学部 情報処理・LL教室 保守	3,426,000	
K-3	図書館ラーニングコモンの整備	3,780,000	
K-4	ラーニングコモンズにおけるネットワーク環境の構築について	4,544,000	
	合計	11,750,000	

◆「経常費」(扱い)の増・減

(単位：円)

件名	支出額	備考
教育系統合認証システム保守	6,090,000	統合認証システムからの分割増額

◆2011年度に事前着手のみ承認

件名	備考
全学教育系情報システム更新 ①情報処理関連3教室 (C271, 370, 373教室) ②ファイルサーバ更新 ③ADサーバ更新	2012年度の事前申請
多摩校 図書館棟情報処理自習室リプレイス	
多摩校 Microsoft Office 2010 (PCアプリケーション) アップグレード	

◆2011年度予算での執行が承認されなかった項目

(単位：円)

件名	申請予算額	備考
図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	2,986,725	補助金により実施
AV・情報メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス	692,685	
千代田校 A棟視聴覚教室2教室 (254, 257教室) 視聴覚設備更新工事	15,691,200	

2. 2012年度事業計画予算申請について

2012年度事業計画予算申請として図書館グループ3件（うち保守費1件）、メディア教育開発グループ7件（うち保守費2件）の申請を行った。

1) 図書館グループ

①「図書館所蔵貴重資料のデジタル化」

劣化の激しい貴重資料の中から保存・閲覧・公開を目的に、①長者機嫌袋（宝永2年刊）②浜松中納言物語（写本）③信長記（版本、木箱（内漆箱）入）④源氏物語（桁型本）をデジタル化することを予定している。

また、デジタル化されたデータの一部は、大妻女子大学国文学会刊行の「大妻文庫」に影印として収録する予定である。

②「図書館棟地下1階 AV・情報メディアルームのリニューアルについて」

2012年度隣接する生活科学資料館にコタカ邸が移設される計画があり、図書館側40㎡の提供が必要となる。それに伴いスペースが縮小されるため、メディアルームの機能確保と効率維持のため、大規模なレイアウト変更を行い、什器等のリニューアルを行う。

また、メディアルームに設置してあるパソコンは、利用頻度が非常に高く、授業期間中は席がすべて埋まることもあることから、設置台数を増やし、全パソコンをリプレイスし、学生の利用環境の向上、機器の保守期間の統一、職員の管理の省力化を計る。AV機器についてもリプレイスを行い、経年劣化を原因とする故障の発生を抑止と、設置機器の省エネルギー化も計る。

2) メディア教育開発グループ

①「全学教育系情報システム更新」

情報処理関連3教室 施設・設備更新、ファイルサーバの更新、ADサーバの更新」

管理している情報関連システムがそれぞれ5年以上経過し、さらに老朽化してきているため、故障した際、部品が供給できなくなるなどシステム全体の運用に支障をきたす恐れがあるため更新を行う。また、更新を申請しているこれらの関連する事業を集約して行うことで、費用等においても有利となる事が期待されるため、関連事業をまとめて行う。2011度末前倒し工事実施は承認された。

②「多摩校図書館棟 情報処理自習室リプレース」及び「Microsoft Office 2010アップグレード」

情報処理自習室が設置してから7年が経過しているため更新を申請する。また他の情報処理関係教室の更新と合わせMicrosoft Office 2010をスクールアグリメントでの一括購入することを計画している。それにより若干予算が削減できる。これら2件について、2011度末前倒し工事の実施は承認された。

③「教育特化型クラウドシステム（manaba course）の導入」

クラウドシステムを導入することによって、学生は自分で作成したデータを自宅や学校のパソコンではなくインターネット上のサーバーに保存することができる。そのため自宅、学校を問わずどちらのパソコンからもアクセスが可能となる。また、教育特化型のクラウドシステムは学生と教員、または学生同士でデータを共有するようなことも可能となり、これまでとは異なった新しい形の学習効果が期待できると共に、新たなるコミュニケーション形態を提供しうることにもなる。授業担当者からの要望も散見されるようになったため、教育に特化したクラウドシステムの導入を申請する。

④「大学校舎A棟 視聴覚教室2教室 視聴覚設備更新工事」

A棟講義室に設置してあるAV機器が9年を経過し、現状、機器に故障が発生した場合の修理対応等が困難になりつつある。また、教室に設置されているビデオプロジェクターについては、その性能の関係上、授業担当者から映像が暗すぎるとのクレームが多く寄せられている。当該教室の視聴覚設備を更新し、授業等に支障ないように備えつつ、授業担当者からの要望にも対応したい。

事業計画予算申請について

2012年度事業計画予算申請一覧は下記の通りである。

【図書館グループ】

(単位：円)

順位	件名	申請額	備考
1	図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	1,366,995	
2	図書館地下1階AV・情報メディアルームのリニューアルについて	30,450,000	

【保守分】

(単位：円)

順位	件名	申請額	備考
1	ラーニングコモンズにおけるネットワーク環境の保守について	607,950	

【メディア教育開発グループ】

(単位：円)

順位	件名	申請額	備考
1	全学教育系情報システム更新 ①情報処理関連3教室(C271・370・373)施設・設備更新 ②ファイルサーバ更新 ③ADサーバ更新	129,570,000	2011年度末に前倒し工事実施
2	多摩校 図書館棟情報処理自習室リプレース	42,410,135	
3	多摩校 Microsoft Office 2010 (PCアプリケーション) アップグレード	11,064,690	
4	教育特化型クラウドシステム (manaba course) の導入	11,120,550	
5	千代田校 A棟 視聴覚教室2教室 視聴覚設備更新工事	15,691,200	

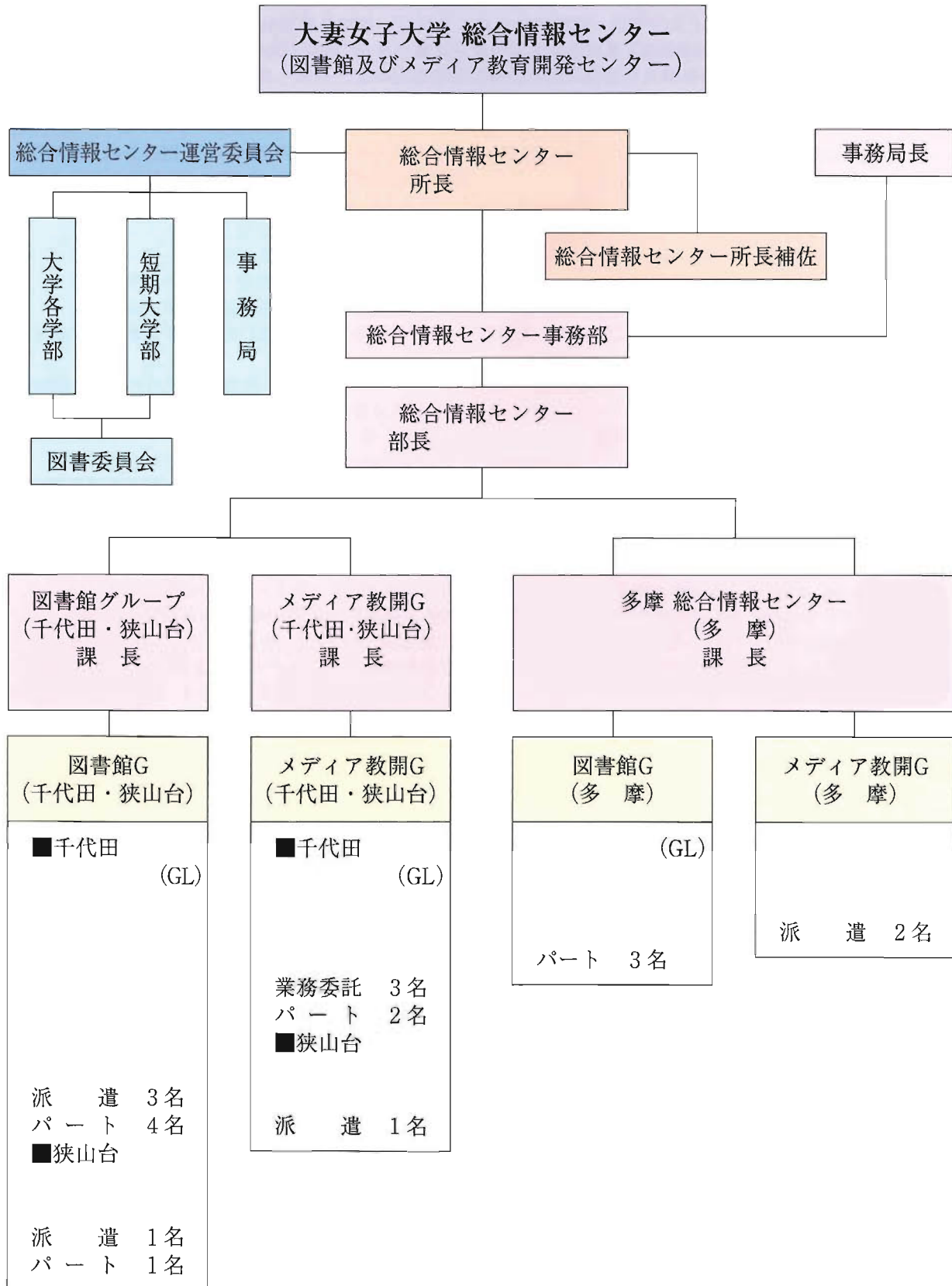
【保守分】

(単位：円)

順位	件名	申請額	備考
1	社会情報学棟 理科実験室 保守	942,900	
2	社会情報学部 情報処理教室 保守料 (減額)	3,255,000	

2011年度 総合情報センターの組織とスタッフ

2011年度 総合情報センターの組織とスタッフ



大妻女子大学 総合情報センター規程

大妻女子大学 総合情報センター規程

平成20年5月29日制定
平成22年7月27日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学学則（昭和48年4月1日制定）第39条第3項及び大妻女子大学短期大学部学則（昭和49年4月1日制定）第39条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部（以下「大学及び短期大学部」という。）共通の附属施設として、教育・研究に必要な図書、電子情報、その他各種資料（以下「図書資料」という。）を収集、所蔵し、教職員、学生等の利用に供するとともに、情報メディア環境を活用した教育・学習活動等への支援と、そのために必要な開発業務を行うことをもって、本学の教育・研究の充実発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 図書資料の収集、組織化、保管、利用者への提供、及び図書館間の相互利用に関する業務
 - (2) 大学及び短期大学部、並びに学校法人大妻学院（以下「学院」という。）が関与する著作権に関する業務
 - (3) 大学及び短期大学部教員に関する教育・研究用データベースの構築と教育・研究用外部資金確保に関する業務
 - (4) 情報メディア教育システムの企画・開発、維持・管理、安定的な運用及びセキュリティ維持に関する業務
 - (5) ネットワークなどの情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援とそれらに必要な開発業務
 - (6) 教職員に対する情報処理及び情報メディア教育関連の講習に関する業務
 - (7) 学生に対する情報処理及び情報メディア等の補完教育の計画、立案並びにこれらに関する業務
 - (8) 学院の要請による情報処理及び情報メディアに関する業務
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務
- 2 前項の業務を行うため、センターに図書館とメディア教育開発センターの2施設及び総合情報センター事務部（以下「事務部」という。）を置く。事務部に図書館グループとメディア教育開発グループを置く。

(組織)

第4条 センターに次の教職員を置く。

- (1) 所長1名
 - (2) 事務部部长1名
 - (3) 事務部課長若干名
 - (4) 事務部職員
- 2 所長は、本学専任教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 所長は、事務部を統轄し、センターの業務を掌理する。また、所長に事故のあるときは、所長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
- 4 センターに所長補佐を置くことができる。

(運営委員会)

第5条 センターの管理・運営の円滑化、効率化を図るため、センター運営委員会を置く。

- 2 センター運営委員会の規程は、別に定める。

(運営細則への委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、センターの管理・運営について必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て理事会において定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月29日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館規則（昭和60年4月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター規程（平成13年5月25日制定）は、廃止する

附 則

この規程は、平成22年7月27日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

大妻女子大学 総合情報センター 運営委員会規程

大妻女子大学 総合情報センター 運営委員会規程

平成20年6月13日制定
平成23年6月4日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学総合情報センター規程（平成20年5月29日制定）第5条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 総合情報センター（以下「センター」という。）の運営の方針及び大綱に関する事項
- (2) センター規程及びセンター運営委員会規程等の改廃に関する事項
- (3) センターの運営に関する予算の大綱に関する事項
- (4) 図書資料収集と管理の基本方針に関する事項
- (5) 情報処理及び情報メディア教育に関する施設設備の整備に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター所長
 - (2) 家政学部長、文学部長、社会情報学部長、人間関係学部長、比較文化学部長及び短期大学部長
 - (3) 大学院研究科長
 - (4) 各学部及び短期大学部から選出された専任教員 各2名
 - (5) 事務局長、教育支援センター部長、学生支援センター部長、多摩事務部長及び狹山台校事務長
 - (6) センター事務部部長、課長
 - (7) その他所長の委嘱する者 若干名
- 2 前項第4号及び第7号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

- 2 委員長は、センター所長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、センター事務部において処理する。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定める。

附 則

- 1 この規程は平成20年6月13日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館運営委員会規程（昭和60年6月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター運営委員会規程(平成13年5月25日制定)は、廃止する。
- 3 平成20年度については、従前の図書館運営委員と情報メディアセンター運営委員を、本規程第3条第3号の委員とする。
- 4 この規程は平成23年6月4日から施行する。

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
昭和24年 (1949年)	初代館長 清水 福市 (S24.4-S45.9)	4月 大妻女子大学の新制大学移行と同時に発足 旧校舎2階に設置 閉架閲覧方式		大妻女子大学設置 (家政学部被服学科・食物学科・家庭理学科・別科)
昭和32 (1957年)		3月 書庫充満のため書架増設		
昭和42年 (1967年)		4月 狭山台校開学 狭山台校分館発足 校舎3階	文学部英文学科内に音声言語教育のための機器、教材整備・充実のため「LL研究室」設置	狭山台校開設 文学部国文学科・英文学科、短期大学部国文科、英文科設置
昭和43年 (1968年)				大妻女子大学創立60周年記念式典挙行 (日本武道館)
昭和44年 (1969年)				
昭和45年 (1970年)	館長 加藤 菊雄 (S45.9-S49.3)	9月 千代田校本館完成図書館も本館1～2階に移動 開架閲覧方式に移行、学生用複写機移動	教育・研究への視聴覚的手法導入に対する熱意の高まりにより、全学的組織「視聴覚教育専門委員会」開催	千代田校舎図書館棟新築完成 図書館研究室本館新築
昭和46年 (1971年)	初代所長 天野 一夫 (S46.4-S49.3)		「視聴覚教育センター」設立 設立に伴い「視聴覚教育専門委員会」を「視聴覚教育運営委員会」に改称。各学部で管理していた視聴覚機器を視聴覚教育センターで一元管理する。	
昭和47年 (1972年)			AAC型LL(フルラボ・オープンテプ型ブース)教室設置—LL授業開始	
昭和48年 (1973年)			千代田校に【教材制作部】【サービス部】、狭山台校に【サービス部】を設置 授業にビデオ教材を使用するため貸出用機器の充実	千代田校記念会館竣工
昭和49年 (1974年)	館長 廣田 榮太郎 (S49.4-S49.5) 館長 黒田 颯 (S49.11-S50.3) 所長 渡辺 修 (S49.4-S59.3)			
昭和50年 (1975年)	館長 吉田 精一 (S50.4-S51.3)		16ミリ発声映写機操作講習会実施	
昭和51年 (1976年)	館長 黒田 颯 (S51.4-S53.3)			
昭和52年 (1977年)				
昭和53年 (1978年)	館長 小幡 弥太郎 (S53.4-S56.3)	狭山台校分館 増築増床		大妻女子大学創立70周年記念式典挙行 (日本武道館)
昭和54年 (1979年)				
昭和55年 (1980年)				
昭和56年 (1981年)	館長 吉田 精一 (S56.4-S59.3)			大妻女子大学人間生活科学研究所設置
昭和57年 (1982年)			千代田校AAC型LL教室をカセット型に改修	
昭和58年 (1983年)		5月 狭山台校分館 保存書庫竣工		狭山台校保存書庫棟竣工
昭和59年 (1984年)	館長 仙波 千代 (S59.4-S63.3) 所長 仙波 千代 (S59.4-S60.3)		狭山台校AAC型LL教室をカセット型に改修	
昭和60年 (1985年)	所長 磯田 浩 (S60.4-S61.3)		「情報処理・視聴覚教育センター」に名称変更	
昭和61年 (1986年)	所長 仙波 千代 (S61.4-S63.3)			千代田校A棟、大妻体育館竣工
昭和62年 (1987年)				
昭和63年 (1988年)	館長 加藤 憲一 (S63.4-H2.3) 所長 坂下 潔 (S63.4-H5.3)	4月 多摩校開学 図書館棟4階に多摩校分館発足	多摩キャンパス開校に伴い 情報処理・視聴覚教育センター【サービス部】設置 多摩校でパソコン使用の授業が始まり情報処理関係教室の管理実施。 LL教室1教室、情報処理教室1教室、スタジオ等設置	多摩校開設 短期大学部 (生活科、日本文学科、実務英語科)設置 千代田校B棟竣工
平成元年 (1989年)				大妻女子大学創立80周年記念式典挙行 (日本武道館)
平成2年 (1990年)	館長 隈部 直光 (H2.4-H4.3)			千代田校旧校舎閉鎖 C棟竣工
平成3年 (1991年)			千代田校教養科目『情報処理概論』の授業開講のためサポート開始	

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
平成4年 (1992年)	館長 伊藤 博 (H4.4-H8.3)	9月 学長の諮問により、図書館及び情報処理・視聴覚教育センター合同運営委員会を開催し、情報処理・視聴覚教育センターの改革案を審議する。 結果、情報処理・視聴覚教育センターサービス部門と社会情報学部計算機室を合併、「情報処理教育センター」とする。 千代田校の教材制作部は「教育工学開発室」とする。 図書館は現スタッフのレベルアップをはかりながら、視聴覚資料の整備、情報システムを活用した他大学との学術情報交流を推進する。		社会情報学部社会情報学科設置 千代田校D棟、大妻講堂竣工
平成5年 (1993年)	所長 磯田 浩 (H5.4-H6.3) 初代室長 伊平 保夫 (H5.4-H12.3)	社会情報学部棟内にLAN敷設	「情報処理教育センター」設立 2部門4部署 千代田校・狭山台校にサービス部門、多摩校に計算機部門・サービス部門を設置 「教育工学開発室」設立(千代田校) ネットワーク名称を“KOTAKA-net”と命名 多摩校-TRAIN(東京地域アカデミックネットワーク)接続 千代田校A棟視聴覚教室を映像ネットワークにより接続	
平成6年 (1994年)	所長 野崎 昭弘 (H6.4-H8.3)	4月 図書館ネットワーク開始 8月 千代田校本館1階改修工事 10月 卒論・卒研のための図書館利用指導開始		
平成7年 (1995年)		2月 千代田校本館2階改修工事 視聴覚コーナー設置 4月 図書館ツアー等の利用指導開始 7月～電算化CALISシステム事務用本稼働		
平成8年 (1996年)	館長 野崎 昭弘 (H8.4-H10.3) 所長 白川 利昭 (H8.4-H12.3)	4月 CALIS閲覧システム本稼働・BDS装置3館に設置 5月 狭山台校分館新図書館開館(旧研究棟を改修)	多摩校・千代田校ダイヤルアップ接続“KOTAKA-net”開始	狭山台校図書館棟竣工
平成9年 (1997年)			情報処理教育センター主催による英検対策講座、パソコン対策講座開催(千代田校)	
平成10年 (1998年)	館長 江本 裕 (H10.4-H14.3)		千代田校C棟情報処理実習室“KOTAKA-net”へ接続	大妻女子大学創立90周年記念式典挙行 (東京国際フォーラム) 人間関係学部 (人間関係学科、人間福祉学科)、 比較文化学部(比較文化学科)設置 多摩校学生会館竣工 草稿・テキスト研究所設立
平成11年 (1999年)				
平成12年 (2000年)	所長 村上 弘幸 (H12.4-H15.3) 室長 村上 弘幸 (H12.4-H13.3)	多摩校分館改修増床 3階～4階を図書館に		
平成13年 (2001年)			「情報メディアセンター」設立 情報処理教育センターと教育工学開発室が合併改組する千代田校に学習支援部門・教材制作部門、多摩校に計算機部門・学習支援部門、狭山台校に学習支援部門を設置 補完教育「課外パソコン講習」[課外英語力強化プログラム]をセンター所管のもと開始	ネットステーション導入
平成14年 (2002年)	館長 栗原 裕 (H14.4-H16.3)	千代田校大学校舎-新図書館棟 NTTスーパーワイドLANで接続	千代田校に情報メディアセンター 計算機部門設置	家政学部ライフデザイン学科、文学部コミュニケーション文化学科設置 千代田校短期大学部家政科第二部廃止 家政学部、文学部2年生履修地狭山台校から千代田校に変更
平成15年 (2003年)	所長 玉井 浩 (H15.4-H19.3)	1月 千代田校本館新図書館棟に移転 地下2階～地上4階を図書館に入退館システム導入 地下1階にメディアコーナーを設置 パソコン40台と視聴覚コーナー設置	各キャンパス各教室情報コンセントで“KOTAKA-net”接続開始	
平成16年 (2004年)	館長 波部 満彦 (H16.4-H20.3)	4月 文系共同図書室 千代田校図書館4階に仮設置		
平成17年 (2005年)			統合認証システム稼働	事務組織にグループ制導入 大妻学院将来構想検討委員会発足 生活科学資料館設置
平成18年 (2006年)				
平成19年 (2007年)	所長 伊藤 朋恭 (H19.4-H20.3)			
平成20年 (2008年)	所長 栗原 裕 (H20.4～)	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。 [計算機部門]の一部と[教材制作部門][学習支援部門]は[メディア教育開発グループ]となる。 また計算機部門業務の一部はIT化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」となる。		大妻学院創立100周年
平成21年 (2009年)		「総合情報センター」設立 [千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ] [千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ]		
平成22年 (2010年)		「システム管理室」設立 9月 CALISシステムから新システムE-CatsLibraryへ移行 ラーニングコモンズ利用開始	アカウント統合管理システムにADサーバー組み入れ	
平成23年 (2011年)		ラーニングコモンズリニューアル 備品交換・持ち込みパソコンのインターネット接続環境整備		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

◆千代田キャンパス

【大学校舎・本館】

1F	棟	施設仕様	教室	収容数	特記事項	
1F	A棟	視聴覚教室	150	315名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 ディスプレイ(43inch 2台)、映像ネットワーク	
			155	168名	VP(2台)、パソコン(持込可)、教材提示卓、映像ネットワーク	
			157	132名		
			164	135名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓、映像ネットワーク	
			166	107名	パソコン(持込可)、教材提示卓、ディスプレイ(42inch 4台) 映像ネットワーク	
	C棟	モニターTV教室	182	90名	ディスプレイ(29inch 2台)	
2F	A棟	視聴覚教室	250	80名	パソコン(持込可)、教材提示卓、ディスプレイ(37inch 2台) 映像ネットワーク	
			252	150名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓、映像ネットワーク	
			254	150名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
			257	150名		
			264	135名	パソコン(持込可)、教材提示卓、ディスプレイ(50inch 4台) 映像ネットワーク	
			266	107名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
	B棟	情報処理教室	232	68名 (PC68台)	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS: WindowsXP	
			235	32名 (PC32台)	CADシステム、大判プリンタ、製図台配置、 パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS: WindowsXP	
			モニターTV教室	242	79名	
				246	78名	ディスプレイ(29inch)
	C棟	CALL教室	モニターTV教室	271	64名 (PC64台)	デジタル、アナログ両タイプLL授業可 VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 PC@LL MT(Ver.5.0) OS: WindowsXP
				281	32名	
282				28名	ディスプレイ(29inch)	
3F	A棟	モニターTV教室	357	42名	ディスプレイ(29inch)	
			366	168名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
	C棟	情報処理教室	370	60名 (PC60台)	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓	
			373	60名 (PC60台)	PC@LL ST(Ver.5.5) OS: WindowsXP	
4F	A棟	視聴覚教室	450	72名		
			455	108名		
			457	108名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
			464	135名		
			466	107名		
5F	A棟	視聴覚教室	553	108名		
			555	108名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
			557	108名		
			564	72名		
			モニターTV教室	565	72名	ディスプレイ(29inch)
				567	71名	
6F	A棟	視聴覚教室	650	72名		
			653	108名		
			655	108名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
			657	108名		
			664	72名		
地1	校舎地下アトリウム		音響システム装置(マイク、録音再生設備)			
地2	本館	情報処理自習室	012	60名 (PC60台)	OS: WindowsXP	
1F		モニターTV教室	101	81名	ディスプレイ(29inch)	
8F		スタジオ	801	—	映像・音声調整卓(アナログ)設置	
		メディア制作ルーム	801	12名 (PC12台)	学生によるコンテンツ制作施設	

【図書館】

階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項	
地下 1 F	PCコーナー	48席	プリンター 3台	
	AVブース	22席	ビデオ、DVD、CD	
1 F	事務室、メインカウンター、検索コーナー、新着本コーナー、展示ケース、他			
2 F	閲覧席	121席		
	開架書架、レファレンスカウンター、大型本、参考図書、検索・コピー各コーナー、他			
3 F	閲覧席	137席		
	個人用ブース	3席		
	開架書架、レファレンスカウンター、絵本、検索・コピー各コーナー、他			
4 F	閲覧席	82席		
	ラーニングcommons	34席		
	閉架書庫、新着雑誌、寄贈雑誌、新聞、検索・コピー各コーナー、他			

◆狭山台校

【1号館・2号館】

階	棟	施設仕様	教室	収容数	特記事項	
1 F	2号館	視聴覚教室	154	336名	VP、パソコン (持込可)、教材提示卓	
2 F	1号館	モニターTV教室	201	53名	202室から移動設置可	
			202	40名	ディスプレイ (29inch)	
			203	40名	ディスプレイ (42inch) パソコン (持込可)	
			204	49名	ディスプレイ (29inch)	
		視聴覚教室	205	164名	VP、パソコン (持込可)、教材提示卓	
			206	164名		
			207	81名		ディスプレイ (42inch 2台) パソコン (持込可)
			208	210名		
	2号館	モニターTV教室	209	140名	VP、パソコン (持込可)、教材提示卓	
			251	79名	ディスプレイ (25inch 2台)	
3 F	1号館	モニターTV教室	252	129名	ディスプレイ (42inch 2台) パソコン (持込可)	
			253	78名	ディスプレイ (42inch 2台) パソコン (持込可)	
			302	56名	ディスプレイ (29inch)	
			303	56名	ディスプレイ (42inch) パソコン (持込可)	
			304	40名	ディスプレイ (29inch)	
4 F	2号館	モニターTV教室	305	49名	304室から移動設置可	
			452	129名	ディスプレイ (29inch 2台)	
		情報処理教室	451	76名 (PC76台)	OS: WindowsXP Comschool (Ver.6.0) パソコン (常設・持込可)、教材提示卓	
		CALL教室	456	64名 (PC64台)	OS: WindowsXP PC@LL ST仕様 (ver5.5) VP、パソコン (常設・持込可)、教材提示卓	

【図書館】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	1 F	閲覧席	44席	
		AVコーナー	21席	ビデオ、LD、DVD、CD
		事務室、PC、開架書架、新着雑誌コーナー、検索・コピー各コーナー、他		
	2 F	閲覧席	78席	
		キャレル	20席	
		開架書架、検索コーナー、他		
	3 F	キャレル	8席	
		閉架書庫、他		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

◆多摩校

【比較棟・社情棟・人間棟・図書館棟】

棟	階	施設仕様	教室	収容数	特記事項
比較文化学部棟	1F	視聴覚教室	3100	120名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			3122	240名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓、ディスプレイ（43inch 2台）
			3127	132名	VP、パソコン（常設・持込可）、教示提示卓
			3130	130名	
	2F	視聴覚教室	3200	66名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			モニターTV教室	3203	28名
		視聴覚教室	3206	57名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			3208	57名	
			3220	69名	
			3223	57名	
		情報処理・LL教室	3225	60名 (PC60台)	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 CaLaboEX (Ver.4.0) OS : WindowsXP
	3230		50名 (PC50台)		
	3F	視聴覚教室	3300	84名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			モニターTV教室	3303	28名
		3306	57名		
		視聴覚教室	3308	57名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			3320	69名	
		モニターTV教室	3323	57名	ディスプレイ（29inch）
			3325	30名	パソコン（持込可）、教材提示卓、ディスプレイ（42inch）
視聴覚教室		3329	39名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓	
モニターTV教室	3331	39名	ディスプレイ（29inch）		
図	2F	情報処理自習室	4264	60名 (PC60台)	パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 OS : WindowsXP
社会情報学部棟	1F	基礎化学実験室	6117	28名 (PC15台)	ノートPC(常設・持込可) OS : WindowsXP VP、教材提示卓
			視聴覚教室	6113	325名
		6153	175名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓	
	2F	情報処理実習室	6215	72名 (PC72台)	VP、パソコン（常設・持込可）教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS : WindowsXPとLinuxのデュアルブート
			6218	72名 (PC72台)	
			6254	64名 (PC64台)	
			6256	64名 (PC64台)	
		視聴覚教室	6213	125名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			6220	125名	
			6250	125名	
	6252		80名		
	6253	80名			
	3F	LL教室	6313	45名 (PC40台)	VP、パソコン（持込可）、教材提示卓 OS : WindowsXP
情報処理・LL教室			6315	36名 (PC42台)	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 Comschool (Ver.6.0) OS : WindowsXPとLinuxのデュアルブート
視聴覚教室		6320	175名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓	

棟	階	施設仕様	教室	収容数	特記事項		
人間関係学部棟	1F	視聴覚教室	7114	151名	VP(2台)、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓		
			7127	300名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓		
	2F	視聴覚教室	7214	151名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓		
			情報処理・LL教室	7217	67名 (PC67台)	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 CaLaboEX(Ver.6.0)	
				7237	69名 (PC69台)	OS: WindowsXP	
			視聴覚教室	7247	110名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓	
			モニターTV教室	7260	33名	ディスプレイ(29inch)	
			視聴覚教室	7262	52名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
			モニターTV教室	7283	33名	パソコン(持込可)、教材提示卓、ディスプレイ(42inch)	
			視聴覚教室	7284	52名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓	
				7286	52名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓	
			3F	モニターTV教室	7313	52名	ディスプレイ(29inch)
					視聴覚教室	7315	52名
	7318	110名					
	7338	110名					
	7348	110名					
	モニターTV教室	7362			36名	ディスプレイ(29inch)	
		7368			36名		
		7381			36名		
		7382			36名		
		7383			36名	パソコン(持込可)、ディスプレイ(43inch)	
		7384			36名		
		7385			36名		
		7386			36名		
	7387	36名			ディスプレイ(29inch)		
	7388	36名					

【図書館】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	3F	閲覧席	106席	PC12台、プリンター1台、ビデオ、DVD、CD 事務室、メインカウンター、新着雑誌、新聞、閉架書庫、検索・コピー各コーナー、他
		メディアルーム	30席	
		閲覧席	143席	
	4F	学習室	54席	開架書架、大型本、参考図書、検索コーナー、閉架書庫、他
		キャレル	6席	

2011年度 総合情報センター 運営委員

総合情報センター所長

家 政 学 部

文 学 部

社会情報学部

人間関係学部

比較文化学部

短期大学部

所長の委嘱する委員

事 務 局

(事務局長)
(教育支援センター部長)
(学生支援センター部長)
(多摩事務部長)
(狭山台事務室参事)

総合情報センター

(部長)
(図書館グループ課長)
(メディア教育開発グループ課長)
(多摩総合情報センター課長)



大妻女子大学 総合情報センター年報
第4号 (2011年度)

2012年7月30日発行

編集・発行 大妻女子大学 総合情報センター

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
TEL 03-5275-6013 (図書館)
TEL 03-5275-6085 (メディア教育開発センター)

印刷 勝美印刷株式会社
